

# ウェブ調査の科学（仮）

## 目次

はしがき	vii
<b>1. はじめに</b>	<b>1</b>
1.1 総調査誤差のアプローチ	2
1.2 本書のロードマップ	5
1.3 本書の目的と範囲	9
<b>2. ウェブ調査の標本抽出とカバレッジ誤差</b>	<b>11</b>
2.1 ウェブ調査の種類と確率標本抽出の利用	11
2.2 ウェブ調査のカバレッジ問題	18
2.3 カバレッジと標本抽出の偏りの統計的修正	23
2.4 この章のまとめ	34
<b>3. ウェブ調査における無回答</b>	<b>36</b>
3.1 ウェブ調査における無回答と無回答誤差	37
3.2 ウェブ調査における無回答誤差	38
3.3 ウェブ調査における回答率と参加率	40
3.4 ウェブ調査の参加・協力に影響する要因	43
3.5 混合方式による調査の無回答	48
3.6 ウェブ調査における中断に影響する要因	51
3.7 ウェブ調査における項目無回答	53
3.8 この章のまとめ	55
<b>4. ウェブ調査における測定と設計　－概論－</b>	<b>57</b>
4.1 ウェブ調査における測定誤差	58
4.2 ウェブ調査の測定に関する特徴	59
4.3 明確な設計アプローチを選ぶこと	61
4.4 ウェブ調査の画面表示の概観・見た目の印象	62
4.5 ナビゲーションの約束ごと／回答指示の決まりごと	68
4.6 回答形式を選ぶこと	69
4.7 グリッドあるいはマトリクスによる質問文	72
4.8 この章のまとめ	76

<b>5. 視覚媒体としてのウェブ（環境）</b>	<b>77</b>
5.1 ウェブ調査票の視覚特性を理解すること	77
5.2 イメージ（映像）の効果	88
5.3 可視化の概念	93
5.4 この章のまとめ	98
<b>6. 双方向型の特性と測定誤差</b>	<b>99</b>
6.1 双方向性の特質	100
6.2 応答のよいマシンライクな特性	101
6.2.1 プログレス・インジケータ	102
6.2.2 自動的な計数機能（Running Tallies）	110
6.2.3 視覚的なアナログ・スケール（アナログ型選択肢）	111
6.2.4 双方向的なグリッド	113
6.2.5 オンライン利用の明確化・具体的な説明（Online Definitions）	115
6.3 人の感覚に近い双方向的特徴	119
6.4 この章のまとめ	126
<b>7. ウェブ調査と他のデータ収集方式における測定誤差</b>	<b>129</b>
7.1 調査方式（モード）の影響を知るための仕組み	129
7.2 自記式方式としてのウェブ調査	132
7.3 ウェブ調査と認識的な負荷	146
7.4 この章のまとめ	149
<b>8. Summary and Conclusions</b>	<b>151</b>
8.1 ウェブ調査における非観測誤差	151
8.2 観測誤差	158
8.3 調査方式（モード）の影響をあらわすモデル	162
8.4 ウェブ調査のための助言・指針	168
8.5 ウェブ調査の将来（今後のウェブ調査）	171
参考文献	173
著者索引	189
項目索引	195